

平成 18 年度鳥取市政懇話会 第 2 回教育福祉部会議事要旨

日時：平成 18 年 5 月 19 日（金）午後 2 時～午後 5 時

場所：鳥取市役所駅南庁舎 地下第 1 会議室

出席者

【委員】安藤委員、池本委員、木村委員、下田委員、仲山委員、三谷委員、溝口委員、吉田委員、吉村委員 <欠席 川口委員、俵臈委員>

【鳥取市】橋本学校教育課参事 <事務局（企画調整課）>大田スタッフ、中原スタッフ

協議内容

部会長 はじめに教育について約 1 時間程度行い、順次、福祉・人権についての御意見をいただきたいと思う。皆さんの忌憚のないご意見を願います。

それでは、まず、事前に意見をいただいているものについて補足説明等を含め意見をいただきたい。

委員 防犯ステッカーについて、悪用する人がいるので、夜などの使わない時ははずしてほしい。まずは、子どもの命を大切にしてほしい。市民ぐるみで目を光らせているという運動として取り組んでいきたい。

郊外と街中の小学校でのアンケート結果を見ると、郊外の小学校では、途中までは友だちと一緒にだが、ひとりきりになる場所があり、保護者が自分の子どもを守るために送り迎えをすることが大切。それができなければスクールバスへの補助金を出してはどうか。

部会長 登下校のうち下校が非常に危険で、ステッカーを貼る、スクールバスへの補助という意見があったが、これに関連して意見はありますか。

委員 美保地区では、小学校の下校時間が知らされている。下校時間中にボランティアの方がパトロールをしているし、町区ごとに 10 人ぐらいの子どもに対して 1 人はお迎えの人がいるなど、地域で子どもたちの安全を見守っている。

部会長 各地でそういう取組みがあるようです。そういう取組みに対して、PTA が立ち上がるのか、地域が立ち上がるのか。

委員 附属小学校にバスで通学しているが、駅でつきまとう人がいる。附属小学校には、地域からの情報が入ってこない。また、町内会にも入っていないので、情報が入ってこない。市内のすべての子どもを守っていくような解決方法を考えていただきたい。

委員 地域にある学校はある程度地域で守られているが、附属は通学時の乗り換えの時間が危険であり、ずっと親が見張るには無理があると思う。

委員 地域だけに情報を流すのではなく、学校関係すべてに情報を流してほしい。

部会長 個々でやりながら、全体に広げていくことがいいのでは。市教委からの情報はすべての学校に流れているようです。

委員 自治会に入っていないと、回覧などの情報がいかないので漏れる所がある。地域をまとめて情報が行くようにすることが大切。

委員 110 番パトロールしている。地域の子どものメインにしている。

部会長 どのような情報が重要なのか。

橋本参事 安全が一番大切。家まで送り届けるのは、物理的に無理である。スクールバスでも隙間はある。地域みんなで見ていくことが大切。モラル・マナー、ルールをはじめ、地域全体で見守っていくようにつなげていきたい。情報を提供することが大切、市民の力を貸してほしい。学校から市教委に入った情報は、FAX で各学校へ付属にも送っています。そして、情報を見極めて安心安全メールでも情報を流している。

部会長 保護者は知っているが、地域までは情報が流れていない。意識が高まっていく施策が大切。

橋本参事 学校安全。ボランティアの人に学校に入ってきてもらいパトロールをし、一緒に登下校もしてもらうように考えている。7月から市教委を通じて広報する予定。

委員 郊外の小学校では、一人になる時間があり、小学1、2年生が狙われやすい。

部会長 行動を起こすことは難しい。地域の住民が命を大切だという意識や施策が必要。市教委から、地域へお願いをしてほしい。

委員 公民館は忙しい。自分でできることからやるべきでは。

委員 家にいるおじいちゃんやおばあちゃんをはじめ、力を借りるのが大切。

部会長 モデルケースを周知してほしい。

委員 普段のつながりが大切で、公民館も心配している。

委員 声かけが大切。

委員 各地域に声をかけて立ち上がってほしい。

橋本参事 各地域での取組の把握はしている。街角に立ったり、自転車かごにステッカーを貼ったりしている。

委員 PTAだけでなく自治会にも流してほしい。

委員 最近、学校だよりが保護者以外には来ないようになった。回覧でもいいので、情報を流してほしい。

委員 ステッカーはどうなるのか？秋田のような事が起こらないうちに。

部会長 注意はできるか。

委員 モラル・マナー・ルールを市民運動にしてほしい。市教委だけでなく、どれだけ、盛り上げていくかが大切。

委員 子どもの人権を守らないといけないが、権利だけを主張する子がいる。義務教育の中で、きちっとした中での教育が大切。

部会長 市民運動にする必要がある。

委員 県・市職員は自転車で通勤してほしい。

橋本参事 モラルやマナーを大切にすることが大事で、まずはあいさつを重点的にしていきたい。今年は、地域へ出かけて話をしていく予定にしている。

委員 子どもは忙しい。えらい時には寝ておくべきだ。心理的にいいと思う。

委員 法律ができています。子どもが狙われたらなかなか防ぐ事が困難。警察力で犯罪を減らそうとしている。体感治安が悪化している。14歳以下の犯罪が、1960年から悪化している。データの多い時代があった。昔は、ニュースにもならなかった。国家治安法、大人が試されている。

委員 アンケートの結果にはっきり出ている。友人関係が悪い。いじめ、市が多いので結果をしりたい。家でのしつけができていない。家庭教育力が低下している。学校には、学力としつけをしてほしい。まずは、友人関係が大切。保護者の強力が必要、学

校が楽しくない。

部会長 学級崩壊が1年生からなっている。学校が楽しくない。

委員 学校の先生が忙しいと思う。解放してあげたい。追い込まれている。プッシュアップしたい。すべてすぐには良くならないと思うけど。これからの日本の教育は、どの時代のどういう状況を目指すのか、何を目標にするのか。

委員 先生は忙しい。週休2日制になってゆとりが出てきた。まずしい中ではがまん、辛抱を覚えた。教育は寺子屋、しつけ、学力を教えてほしい。

委員 ゆとり教育はどうかと思う。学力低下。毎日疲れている。家族とのふれあいが大切。学力だけでなく、マナーを持っている人間形成が大切。

委員 学力だけでなく、世間に出てはすかしくない人間をめざす。

委員 子どもの個性を伸ばす教育が大切。相手の立場に立つことが大切。学校家庭で伸ばす。

部会長 生活姿勢が基本。学校に求めるものは。

委員 大人が悪い見本を、子どもに見せているのでは。

委員 先生に自由があったほうがいい。ゆとり教育のメリット、デメリットの分析、検証したのか。

橋本参事 バランスゆとり 教える(基礎)

委員 学力は確実に低下している。家でのゆとりがない。先生の中には教育者でない人がいる。

委員 いじめがある、友人関係が悪い。

部会長 楽しい学校にはどうしたらなるのか。心の教育。

委員 道徳の時間、どんな教科書を使っているのか。

橋本参事 年間35時間で教科書はない。人権教育には年間10時間を使っている。

委員 毒も教えないといけない。18歳までには経験しないとけないことを教える。性、エイズなど。

部会長 学級の中が楽しく、つながりのあるように。保護者、先生が協力してほしい。信頼関係が大切。

委員 相手を敬うこと、家庭、学校において。

委員 どういうことを提案したらいいのか。

委員 先生がサラリーマン化。魅力がない。余裕を持ってほしい。恐れている。

橋本参事 肥大化、精選したい。シンプルにする。子どもと向き合っていきたい。

委員 不適格な先生がいる。

委員 わかるような授業、昼休憩と一緒に遊んでほしい。PTA、保護者にしっかり言ってほしい。信頼関係、子どもとのつながり。子どもが少なくなったら、こういう時代となったのでは。

部会長 親のしつけができない。基本の型は必要。

それでは、本日の会議はこれで終了します。次回は、5月30日(火)に全体会がありますが、今日この部会は集まっているので、部会は開催しません。ですので、次回の部会は、7月7日(金)に駅南庁舎地下会議室で行い、福祉をテーマといたします。